

第7回桶川駅東口周辺地区まちづくり懇話会議事要旨

<南小跡地周辺の利活用について>

- ・南小跡地周辺の構想が固まらなると計画は進まないと思います。今後、構想づくりをどのように進めていくのですか。
⇒今は構想をつくるための準備をしている段階だと考えています。去年は市民アンケート、今年は企業ヒアリングを行いました。市ではいただいた意見等をもとに共通の理解を得られるものを考え、たたき台を作っていきます。次にそれをフィードバックして、また、市民の意見を伺います。構想を作るためには、そのような作業を何度も繰り返すことが必要だと思います。

- ・スケジュール、目標は出さずに進めていくのですか。
⇒ざっくりとしたスケジュールは、かわら版等で提出していますが、皆様から意見をいただきながら、材料を集めていき、はっきりさせていきたいと思っています。今までのまちづくりでは最初にスケジュールを出して進めてきましたが、現在は沢山の要素があるなかで、同様の方法で進めることは難しいと思います。

- ・商店街を発展させるためには、まず住む人を増やしていく必要があると思いますが、南小跡地に借地権付きマンションを建てる可能性などはあるのですか。
⇒企業ヒアリングでは、ほぼ全ての会社が、桶川は都心に比べると地価が高くないため、定期借地権付きのマンションは成立しないという意見でした。

- ・防災に重点を置き、安全な街にしていこうとなった時、木造の家を建ててもよいのですか。
⇒建物の規模、用途により、求められる耐火性能は変わってきますが、必ずしも木造住宅が建てられないということはありません。

<今後の懇話会の活動について>

- ・ 懇話会は今後も継続していくのですか。
⇒ 懇話会で意見をいただくことは、市がまちづくりのたたき台をつくっていきななかで一つの目安になりますので、継続していきたいと考えています。

- ・ 懇話会にコンサル会社を参加させることは考えていませんか。
⇒ 今後の状況にもよりますが、基本的に懇話会では市民の素直な意見をいただくことが大事だと考えていますので、地域の方を中心に意見交換を行っていただいています。

- ・ 懇話会のゴールが見えにくいのですが、意見交換をするだけでなく、意見を取りまとめる必要はないのですか。
⇒ 意見交換のなかで必要なものが見え、いただく意見がまちづくりの材料になっていきます。最終的には市がいただいた意見をまとめ、決定していきますが、皆様にはこのような街を目指すべきではないかという方向性を示していただきたいと考えています。

- ・ 懇話会では大きく分けて、駅東口周辺地区全体の話、駅前広場周辺の話、南小跡地の話、駅通り周辺の話の4つがあると思います。今回は駅東口周辺地区全体の話のなかで、イメージ例が具体的に出てきました。これは大きな進歩だと思います。今後は、歩道はこれぐらい欲しいとか、信号機が欲しいとか、一方通行にしたいとか、防犯カメラが必要だとか、現実的な話に進んでいけば、市で絵姿として資料を作り易くなると思います。